

～中学校区の特色を生かした小中一貫教育～

小中一貫教育推進室だより「TSUNAGU」では、子どもたちの様子や学校園の取組みなど、市内における小中一貫教育をはじめとした連続・一貫した教育活動の状況を発信していきます。

弥刀中学校区 的特色ある取組み

弥刀中学校区は『自ら学び(MI)・共に学ぶ(TO) みとっこ～自信へ～』をめざす子ども像として、日々の教育活動に取り組んでいます。そして、これからの社会を生きていくため、子どもたちに「つけてほしい力」として
◆自分を見つめる力◆ちがいを認める力◆自分で考える力◆伝え合う力◆自分で判断する力◆相手を大切にできる力の6項目を掲げております。これらの力をつけるための弥刀中学校区の取組みについて紹介します。

児童会生徒会交流会 ～なるほど！私の学校でもやってみよう！～

「お互いの学校の取組みからヒントを得て、弥刀中学校区をよりよくするために、自校の活動をさらに活性化させること」をめあてに、令和3年度より「児童会生徒会交流会」を行っています。今年度で4年目となり、子どもたちから「**交流会をこれからも続けていきたい**」「**中学校の行事や取組みを知れてよかった。次の交流も楽しみにしています**」といった前向きな意見が集まるなど、今では子どもたちが主体となって交流会を進めています。



児童会生徒会交流会の様子

交流会は「小学6年生中学校登校」の日に生徒会室で行います。中学生がファシリテーター（進行役）として進行し、はじめに自己紹介やアイスブレイクなどを取り入れることで、児童も話しやすい雰囲気での交流が進んでいきます。



交流会の開催は年間を通して前期と後期で分かれており、前期は各校の取組み紹介後、今後の交流について話し合います。後期は、取組みのVTR（動画）を見ながら、具体的な交流行事について協議するなど、先生が協議に入ることなく、子どもたちが考えた議題で協議が進んでいきます。

交流会が終わると、協議の内容や活動報告を中学校区全体にわかりやすく伝えるためにはどうしたらよいかを考え、取組みの資料や原稿を自分たちで作成し、各校の掲示板で紹介しています。

交流会から始まった小中合同の活動

①小中合同あいさつ運動

一緒にあいさつできると気持ちがいいね



交流会後、あいさつ運動が子ども主体の取組みとなり、実施回数も増え、「あいさつについて」ふりかえりも自分たちでできるようになりました。

②地域クリーン作戦

自分たちの地域をきれいにしよう



交流会にて中学校の取組み紹介後「小学校でもやってみよう」との前向きな声から始まった活動です。みんなで地域をきれいにします。

《児童生徒のふりかえり》

- 自分の学校ではできていない取組みがあることがわかりました。これからの活動に繋がってほしいです。
- 小学校の取組みや、小学生からの要望を受けることができて、有意義な日となりました！これからも小学校との交流をどんどん増やしたいと思いました。
- 地域の清掃や学校会議BOXを弥刀中学校区で取り組んでみたいです。

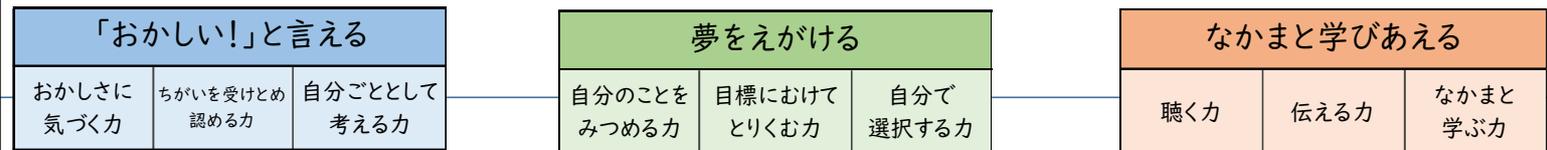
中学校区をよりよくしたいという気持ちで集まった子どもたち。交流会で互いに意見交換を行う中で、子どもたち自身の考えを伝え合い、「こんなことをしてみたい・弥刀中学校区のためにできることをやる」など、**主体的に意見し、活動する姿**がたくさん見られます。まさに子どもたちにつけてほしい力【自分で考える力】【伝え合う力】が身につけている姿がここにあります。今後も子どもたちの主体性を大事にしながら、交流会を続けていきたいと思っています。

金岡中学校区の特色あるとりくみ

金岡中学校区は長瀬東小学校、長瀬北小学校、金岡中学校からなり、『自らの生き方をつくる子 — なかまと学びあえる 夢をえがける 「おかしい！」と言える』をめざす子ども像としています。校区として中学校卒業時にどんな力をつけてほしいかを三校の教職員みんなで考え、9年間を通して子どもたちを育てていくという意識で教育活動にとりくんでいます。

金岡中学校区で大切にしたい9つの「つきたい力」

発達段階に応じたそれぞれの到達目標も設定しています！



三校合同での人権講演会

2023年「ともに学び ともに生きる教育（車椅子ダンス）」



2021年「部落問題学習（太鼓集団魁）」
2022年「在日外国人教育（ちゃんへんさん）」

三校での母国語学級の交流

オリニウンドンフェ

三校サマースクール

〈ふりかえりより〉
自分と同じ国にルーツがある子が同じ校区にいと知れてうれしかった。また集まりたい。

「集い」

ハングルかるた大会

「授業デザイン」

- ◎学ぶことをあきらめない
 - ・白紙をつくらないための課題設定
 - ・「教えて」という自分発信で始まるグループ学習
- ◎「学びの雰囲気」を全員でつくる
 - ・子どもたち自身による全体共有
 - ・どの子どもにとっても学びあいを深められる課題設定

小小・小小中交流

- ◎小1年 おうちの仕事
→レッツ トライ～おうちのしごとをやってみよう～
- ◎小2年 おいたち学習
→たいせつにしよう 自分のこと～おいたちの学習から～
- ◎小3年 校区たんけん
→だいすき わたしたちのまち～校区たんけんて学んだこと～
- ◎小4年&中1年 地域とのであい
→であい 発見 ～地域の人との出あいを通して～
- ◎小5年&中2年 仕事
→ともに生きる～多文化共生や仕事の学習を通して～
- ◎小6年&中3年 平和、生き方
→見つめよう 私たちの未来～平和学習、生き方の学習から考えたこと～

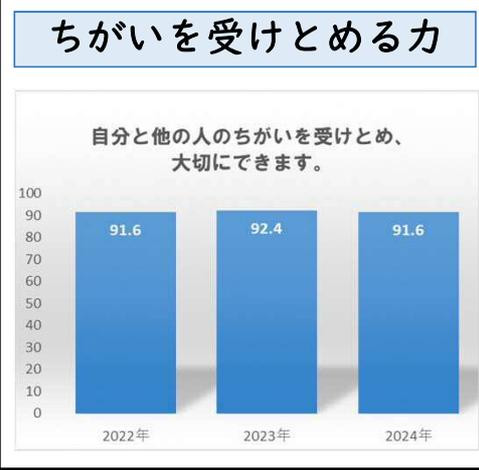
〈小5中2交流 ふりかえりより〉
・自分たちが3年後くらいには職場体験に行くから、今からわくわくします。中学生ともたくさん話せてよかった。
・中学生のみんながリーダーとして引っ張って行ってくれてとても助かったのも、私もあんな中学生になりたいなと思いました。とても楽しかったです。

生徒会・児童会交流

- ◎鋼の生活目標の発信
- ◎あいさつ運動の実施




校区でとりくむ「家庭学習強化期間」



さまざまなりくみを通して、「つきたい力」が子どもたちの中に育っています
(校区 子どもへの「生活アンケート」より)

- ◎「自分と他の人とのちがいを受けとめ、大切にできます」
⇒中学校区で3年間90%をキープできています
- ◎「授業でわからないことがあったときに友だちに『教えて』と聞いています」
⇒中学校区で3年間80%をキープしています